

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第44回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成28年10月26日(水)13時～14時20分

【場 所】以下の5拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1号館505号室、金沢電子出版株式会社、株式会社ピコラボ

【出席者】城教授、内金崎事務員、(岩手医科大学)、越野教授、豊下講師、茂庭課長(北海道医療大学)美島教授、佐藤教授、片岡教授、小暮係長(学務)(昭和大学)鈴木様(株式会社ピコラボ)佐藤様(金沢電子出版株式会社)

【欠席者】弘中教授、松原課長(財務)

————— 議 事 内 容 —————

報告事項

1. 第43回 ITを活用した教育センター会議議事録 (資料1)
2. 5年生ポートフォリオの提出状況、復習用ライブラリー症例課題の履修状況 (資料2)
3. 第23回歯科医学会について
3大学の学生がそれぞれ発表し、質問を行う事で理解を深め交流を図った。
4. 第3回公開シンポジウムについて
越野教授から講演は北海道大学の山崎 裕教授による「超高齢社会に必要な歯学生教育」と札幌歯科医師会の高橋一行理事による「超高齢社会における札幌歯科医師会の取組み」を依頼した件報告があった。

検討事項

1. 3大学学生間交流授業(H29年1月12日)
昨年同様越野教授が責任者として、3大学の学生に交流授業のオリエンテーションを行うことになった。岩手医科大学は小林講師、昭和大学は佐藤教授が担当する。オリエンテーションの日程調整中である。
2. 3大学共通試験について
城教授が責任者として、昨年度の試験結果を解析し、今年度の作問依頼を各WGの先生方に依頼する予定である。試験日程は3月3日、6日、7日で調整中である。
3. 来年度以降の本事業継続のための取組と予算について (資料3)
ディスカッションを経て資料3の案を作成した。今後3連携校で検討をし、11月19日に決定する。
4. その他

次回開催日時 11月19日(土)

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第43回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成28年9月28日(水) 13:00～14:20

【場 所】以下の5拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1号館505号室、金沢電子出版株式会社、株式会社ピコラボ

【出席者】城教授、内金崎事務員(岩手医科大学)、越野教授、豊下講師、茂庭課長(北海道医療大学) 美島教授、佐藤教授、弘中教授、片岡教授、内海講師、松原課長(財務)、小暮係長(学務)(昭和大学) 鈴木様(株式会社ピコラボ)、佐藤様(金沢電子出版株式会社)

【欠席者】近藤教授、安原助教、乾事務員

議 事 内 容

報告事項

1. 第42回 ITを活用した教育センター会議 議事録 (資料1)
2. 5年生ポートフォリオの提出状況、復習用ライブラリー、症例課題の履修状況 (資料2)
3. IT教材作成(修正)からeラーニングコース履修までの流れ (資料3)
4. 今年度の授業アンケート結果 (資料4)
5. IT教材(復習用ライブラリー・症例課題)を学修した研修医の先生のご意見と感想 (資料5)
学生・研修医、歯科医師会の意見を参考に、「復習用ライブラリ」「症例課題」の解答、解説部分をさらに充実させることにした。また教材の量も考慮し、WGごとに30分～1時間程度で履修できる部分を必修とし、それ以外は余裕があれば履修するなどの対応を考える。

検討事項

1. 第23回歯科医学会について (資料6)
歯科医師会からは岩手県歯科医師会の三善 潤先生と大田区大森歯科医師会の下山忠明先生が参加する。学生は昭和大学：山田修平、関 大蔵 岩手医科大学：馬場陽久、平山友望、吉田結実子、北海道医療大学：島谷真梨の6名が参加する。質疑応答は10月23日(日)12:30～13:30に行われる。その前後で3大学の学生が交流する機会を設ける。
2. 第3回公開シンポジウムについて
開催案内とポスターを今週中に発送予定であり、シンポジウムならびに情報交換会の出席者を確認する。シンポジストの先生方には、越野先生から講演内容について連絡をしていただく。
11月19日(土)10:00からの自治労会館における会議にはITを活用した教育センター会議のメンバーが出席し、11:00からの会議にはその他のメンバーが加わる。金沢電子出版とピコラボ社の展示ブースは今回設けない。
3. 来年度以降の本事業継続のための予算について (資料7)
 - 1) クラウドサーバーの維持管理経費：3大学で負担する。
 - 2) 3大学持ち回りで年1回の会議を行うための出張費と報告書作成：各大学2～3名が出席。出張費は各大学で予算を確保する。また報告書は会議の主催校が編集し、印刷費、発送費を負担する。
 - 3) IT教材の改善費：基本的には教員がeラーニング教材の改良を行うが、どうしても難しい場合の

ために予算を確保する。

- 4) Moodle のバージョンアップ：昭和大学の Moodle のバージョンが古いことと、Moodle のバージョンアップに際しては穴埋め問題につかっている昭和大学がオリジナルで作成したアプリのバージョンアップが必要になる。

4. e-ラーニング教材の著作権について

(資料 8)

<http://www.jcea.info/e-learning3.html>

文科省の補助を受けて作成した教材は、基本的には公開しなければならないために、著作権について検討する。

5. 3 大学学生間交流授業 2017 年 1 月 12 日(木)17:30 から

本授業の責任者を昨年同様越野先生にお願いする。今年度は発表を担当するのは 2~3 名の学生であるが、出席可能な学生は授業に参加する。

6. 3 大学共通試験

実施日程や実施方法、試験問題のブラッシュアップなどの責任者を昨年同様岩手医大の城先生、近藤先生にお願いする。

次回開催日時 現在調整中

10 月 26 日 (水) 13:00~14:30

10 月 27 日 (木) AM, PM

平成28年度 3大学提出物、回収状況一覧表

大学	担当	進捗 (4/5更新)	学年	STEP	アンケート集計	ポートフォリオ		10/18(火)時点		
						ユニット名	提出物	履修率	正答率	
北海道 医療大学	越野先生 豊下先生	5年生については臨床教育 管理運営分野 長澤教授、 3年生については咬合再建 補綴学分野でマネージメン トすることで調整中。電子 ポートフォリオはmoodleを 活用して実施する。高齢者 に関する実習で使うポート フォリオのフォーマットはな るべく本取組で用いるもの と同一になるよう検討中。	3年	STEP 1	授業後アンケート (〇回目まで回収済)	リハビリテーション科学概論	ポートフォリオ	38名/74名(51%)		
			5年	STEP 2	授業後アンケート (〇回目まで回収済)	高齢者歯科学	ポートフォリオ	9月30日提出締め切り		
			5年	STEP 3	症例課題トライアル アンケート結果	高齢者歯科学	ポートフォリオ	12月31日提出締め切り		
							復習用ライブラリ	30名/49名(61%)		
		症例課題	29名/49名(59%)							
岩手医科 大学	近藤先生	10月から11月中旬にかけ て実施されるD5介護体験 実習・地域医療実習で本 ポートフォリオを活用する。 ポートフォリオはファイルで 回収する。	3年	STEP 1	授業後アンケート (〇回目まで回収済)	社会と歯科医療・チーム 医療(大学間連携IT教育)	ポートフォリオ			
			4年	STEP 2	授業後アンケート (〇回目まで回収済)	社会と歯科医療・チーム 医療(大学間連携IT教育)	ポートフォリオ			
			5年	STEP 3	症例課題トライアル アンケート結果	社会と歯科医療・チーム 医療(大学間連携IT教育)	ポートフォリオ			
							復習用ライブラリ			
		症例課題								
昭和大学	内海先生 (病歯臨床の採点は 一部丸岡先生担当)	実習書に提出するひな形を 掲載し、フィードバック担当 教員を決定。3月25日に学 生オリエンテーション	3年	STEP 1	授業後アンケート (〇回目まで回収済)	口腔医学とチーム医療Ⅰ	ポートフォリオ			
			4年	STEP 2	授業後アンケート (〇回目まで回収済)	口腔医学とチーム医療Ⅱ	ポートフォリオ			
			5年	STEP 3	症例課題・復習用ラ イブラリ・共通試験 トライアル実施 (2016/3/14)。 アンケート結果集計 済。	口腔医学とチーム医療Ⅲ	ポートフォリオ (規定フォーマット すべての提出 率。期限遅れ含 む)	地域連携Ⅲ 【提出物】 ・目標書き出し ・ふりかえり ・成長報告書	名/89名(%)	
								病歯臨床 【提出物】 ・目標書き出し ・ふりかえり ・成長報告書 ・SEA	33名/44名(75%)	
							復習用ライブラリ 履修状況 (1問でも受験完 了した者)	WG1	34名/89名(38%)	
								WG2	23名/89名(26%)	
								WG3	23名/89名(26%)	
								WG4	22名/89名(25%)	
							症例課題 履修状況 (1問でも受験完 了した者)	WG1	30名/89名(34%)	
								WG2	7名/89名(8%)	
WG3	25名/89名(28%)									
WG4	24名/89名(27%)									

来年度以降の本事業継続のための取組と予算について(案)

1. 「IT を活用した教育センター」について

1) 構成員について

- ① 3校の学部長と本事業で作成した IT 教材を活用して授業を行っている教員、歯科医師会会員および事務職員で構成する。

2) 「IT を活用した教育センター」会議について

(1) 「IT を活用した教育センター拡大会議（スカイプ）」

- ① 年に数回開催する。
- ② IT 教材の改善を図り、IT 教材を活用したより良い授業を実施し、臨床研修医向けの教材を作成することなどを目的に行う。

(2) 「IT を活用した教育センター会議（対面）」

- ① 各大学 3 名程度の教員と 1 名程度の事務職員で構成する。
- ② 「IT を活用した教育センター拡大会議（スカイプ）」の内容を集約し、3 連携校の本事業の方針を決定する。
- ③ 3 校持ち回りで年 1 回実施する。
- ④ 平成 29 年度は昭和大学、平成 30 年度は岩手医科大学、平成 31 年度は北海道医療大学が開催することとする。
- ⑤ 旅費、交通費については、各大学で自己負担とする。
- ⑥ 3 校で協議のうえ、当該年度の当番校が開催日時等の詳細を確定する（開催日は 5 月あるいは 6 月の木曜日とする）。
- ⑦ 開催校関連の歯科医師会会員も参加し、臨床研修医向け教材の作成などについて意見をもらう。

2. 報告書の作成について

1) 報告書の作成方法について

- ① 委員会当番校が報告書の取り纏めを行う。
- ② 作成費については、当番校で負担する。
- ③ HP 上でも公開する。

3. moodle のバージョンアップについて

- 1) 昭和大学で来年度予算には組み込まれていないため、今年度と同様に運用する。
- 2) その後の運用については、「IT を活用した教育センター会議（対面）」で協議する。

4. IT 教材の改修について

- 1) 予算が発生するものに関しては「IT を活用した教育センター拡大会議（スカイプ）」を開催して審議の上、3 連携校予算で改修を実施する。

5. その他

- 1) 本事業の HP については、現在のものを 3 連携校予算で維持する。